



110番が終わった後どうすればいいか？

- ① 警察官が到着するまで、子どもを待たせてください。
- ② 子どもが興奮してやまないときは、母親、父親になった気持ちでやさしく接してあげてください。
- ③ 子どもの保護者、学校などが分かれれば、連絡してあげてください。
- ④ 警察官が到着したら、事情を説明してください。



事件ではない場合

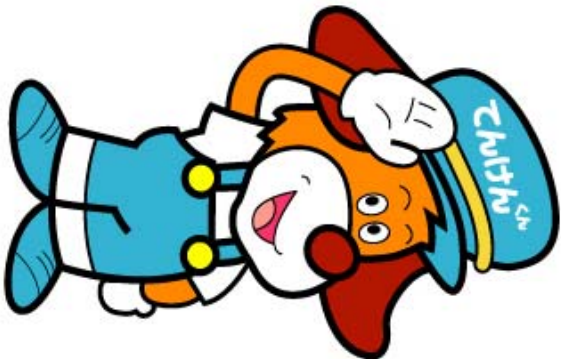
事情を聞いて

- お腹が痛い・ケガをした
- トイレを貸して
- 電話を貸してなど、

事件に関係がない場合は、

- ①場所を提供する
- ②家庭・学校へ連絡してやる
- ③場合によっては救急車の手配をする

等のご協力をお願いします。



山梨県自動車整備振興会
山梨県警察・山梨県

子ども110番のお店 対応マニュアル

大切な子どもを守るAMSマークの整備工場



山梨県自動車整備振興会
山梨県警察・山梨県

「子ども110番のお店」対応マニュアル



子どもたちが、登下校時や広場等で「声かけ」や「つきまとい行為」などの犯罪に巻き込まれそうになったときに、

◎子どもたちを安全に保護

◎学校や警察等への連絡

などにご協力をお願いします。



子どもが駆け込んできたら、まず何をすればいいか？

- ① 自分が落ち着くこと。
子どもは興奮していますので、それにあわせて自分があわてることのないように、まず自分が落ち着いてください。

② 子どもを落ち着かせること。

「もう大丈夫。」「何があったの。」「とやさしく声をかけて、駆け込んできた子どもを安心させてください。

③ 子どもを店に入れ、入口を開めること。

子どもを店に入れ安心させることと、追いかけてきた不審者から子どもを守ってあげてください。



駆け込んできた子どもから、何を聞けばいいのかわかるか？

① 何があったか？（事案名）

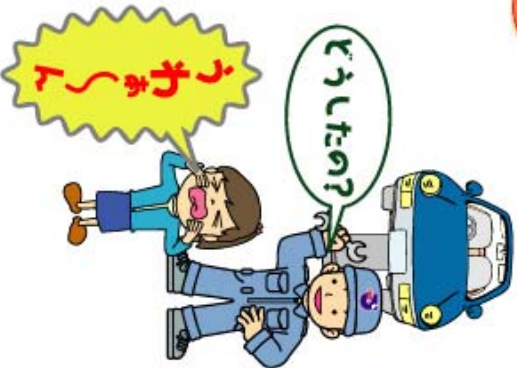
- 不審者につけられたのか？
- 声をかけられたのか？
- 痴漢にあったのか？
- 追いかけられているのか？
- お金を取られたのか？
- 交通事故にあったのか？

② いつあったのか？（時間）

- 今あったのか？
- 今日の何時何分頃のことか？

③ どこであったのか？（場所）

事件にあった場所の地名、目撃物等を聞いてください。



110番通報するときは、どのような要領で架ければいいか？

- ① まず電話で「110番」をダイヤルする
加入電話、携帯電話どちらでも構いません。
- ② 子ども110番の店であることを住所・氏名を告げる
電話で「子ども110番の店」であることをまず伝え、住所、氏名、電話番号を言ってください。
- ③ 通報内容を伝える
駆け込んできた子どもから聞いた内容（事案名、時間、場所、状況、特徴、逃走方向等）を順序よく話してください。
- ④ 子どもが110番に答えられるようであれば、電話口から子どもを出す
- ⑤ ケガをしている場合は119番通報するか、110番でその旨を話す

ケガをしている場合は、まず、救護を優先してください。